



ひるの

星

No. 254

もくじ	
バハオラの言葉.....	2
精神界.....	3
クイズ.....	7
ぬり絵.....	8
切り絵.....	9
みんなの <small>しゃしん</small> 写真.....	10
保護者 <small>ほごしや</small> のページ.....	11



ふた　　しかく　　も　　もの
おお二つの視覚を持つ者よ！

いっぽう　　まなこ　　と　　たほう　　まなこ　　ひら
一方の眼を閉じ他方の眼を開け、

ひと　　せかい　　なか
一つはこの世界とその中

すべ　　たい　　と
にある総てに対して閉じ、

た　　けいあい　　もの
他は敬愛される者の

きよ　　び　　たい　　ひら
聖き美に対して開け。

バハオラ

せいしんかい 精神界



夜もだいぶ更けた頃でした。5人の子供とお母さんが小高い丘の上で敷物に座りました。家族で沖縄の読谷村にある城址に集まっていました。幼いアニサが熱いココアをすすりながら大きなあくびをして聞きました。

「お母さん、どうしてこんな夜遅く私たちだけで外にいるの？」リアズが口をはさんで、「おもしろいじゃないか！これって冒険みたいだ！」と言うと、シャラが賛成して、「そうよね。遠くに見える街灯りがとてもきれい！大好き！毎晩来ましようよ！」と言いました。モナが付け加えて、「街灯りが宝石をちりばめたネックレスみたいね！」と言いました。

するとアスマがいらいらしながら言いました。

「みんな、どうしようもないな！どうしてここにいるのか何も分かってないんだから！」お母さんが、「それじゃ。」と言ってアスマに聞きました。

「アスマ、どうしてみんながここにいるのか説明してくれる？」

「今日はバハイの祝日だよ！ええっと…バハオラの何だっけ？…バハオラの亡くなられた日なんだけど。」

お母さんがほほ笑みながら、「昇天でしょ。それが夜中だったのよ。」と答えて続けました。

「よくやったわ、アスマ！」そうして、くるみ入りのマフィンをみんなに配りながらたずねました。

「バハオラが地上を去られた、この日を思い出すのに家の中ではなく、どうしてここにいると思うの？」子供たちは暖かいマフィンを冷たい手で包みこみながら、うす暗い中で互いに顔を見合わせました。誰もその答えを持ち合わせていませんでした。

「お母さん、お母さんがいつもこんな変わったことをするから、もう俺たち慣れっこになっているよ。」とリアズが笑いながら答えました。他の子供たちとお母さんも笑ってしまいました。

「みんな知っているように、今お父さんは聖地にいるのよ。そこでバハオラ昇天100年目のこの日を思い出す式典に参加されています。参加者は今晚バハオラが埋葬されているバージの館の周りを歩いて廻ります。だから、私たちも自然のある外にいたら神様を近くに感じると思っただの。」

子供たちは座ったまま背筋を伸ばして神様を近くに感じるように大きく息を吸ってみました。

「感じたわ！」とモナが言いました。子供たちはみんなそう思いました。

「どうして外にいることが神様に近くなったとを感じるのだろう？」とアスマが聞きました。

お母さんが答えました。「それはね、神様が自然にあるものは何でも創られたからなのよ。最も大きな太陽から最も小さな虫までもね。だから神様の創られたものを見ると、私たちは神様をもっと近くに感じるのよ。それから美しいものを見るときもね。というのは、美しさは神様の属性だからなのよ。神様のどの属性を見ても、そう感じるものなのよ。」

「へーえ、そうなんだ。」と言って子供たちはうなずきました。

「だから広い海を見渡すのって、とても気持ちいいんだわ！」とモナが言って、「私たちみんな、神様に近くなったと感じているのね。」するとリアズが、

「ずっと高い所に立って遠くを眺めているとき、そんな感じがするんだ！空高く飛んでいける鳥になったみたい！」と言いました。

「そうね！鳥なら神様にとても近くなったと感じるはずよ！」と幼いアニサが言いました。みんな笑ってしまいました。

お母さんが、「誰かが神様の属性を映し出しているのを見ると、同じように感じる事が出来ます。」と言って続けました。「誰かが親切で、見知らぬ人を手伝っているのを見たときを覚えておらん。とても気持ちがよくなるでしょう。誰かが何かを少ししか持たないときでも、それを分け与えたり、害を与えた人を許したり、動物に優しくするのも見ると心が温まります。誰かに神様の属性が見えるときは、気持ちが良いものです。それは神様に近く感じさせてくれます。私たち自身が神様の属性を見せるときも、神様に近くなったと感じるでしょう。」

子供たちは熱いココアを飲みながら、そして暖かいマフィンを食べながら、お母さんが言ったことを考えました。お母さんが続けました。

「バハオラが言われました『おお二つの視覚を持つ者よ！一方の眼を閉じ他方の眼を開け。一つはこの世界とそこの中にある総てに対して閉じ、他は敬愛される者の聖き美に対して開け。』」

「二つの視覚があるというのは、近視とか遠視があるということなの？」とシャラが聞きました。

「これは目の検査のこと？」とアニサが聞いたので、みんな笑ってしまいました。

「ちがうのよ！二人とも。」とモナが言って、「これはね、たぶんこの世のものを見る目を閉じるべきだと言っているのよ。というのは、その目をもっと大切な精神界を見るのをじゃまするからだと思うわ。」

「そうなのよ、モナ！すばらしい！」とお母さんがほめました。

「敬愛される者とは誰のことなんだろう？神様のことかな？」とアスマが聞きました。

「そうです。そして聖き美は神様の聖なる美しさ、つまり属性を言っているのよ。」

「二つの視覚はみんな持っているの？」とシャラが聞きました。





「みんな二つともあるはずだけど、たくさんの人は精神界を見る目を使っていないだけだろ。」とアスマが答えました。

「そうね、特に男はそうだと思うわ。私たち女の子は美を見る目は確かだもんね。」とシャラが言いました。

リアズが舌を出して、「それは違うだろ！精神界を見るのは男の方が得意なはずだ。だってお坊さんは男だろ。」

「この世のものを見ることで、じゃまされているのは何かについてモナが説明したのが、この引用文のととても大事なところだと思えます。」とお母さんが言いました。

「多くの人が、この世のものを見るのにととても忙しくしています。この世にあるのは、おもちゃ、ゲーム、スポーツ、お金、服などです。それより、もっと大切なものを忘れてしまっています。愛、親切、正義、いつくしみ、同情、許しなどで、精神界を見る目を通して心に感じられるものです。」

「いまこの暗さでは何もあまり見えないわ！だから静かに座って、ただ何かを感じればいいのね。」とシャラが言いました。

「それはとても良い考えね、シャラ。」とお母さんが言って続けました。

「ひとつ、大学生を使った、とてもおもしろい実験があります。ある大学生のグループに交通量の多い大通りを映した映画を観せました。学生たちに画面に映った車の数を全部数えて、その合計を書き出すように言いました。画面には車が左から右、右から左へと忙しく行き来する中にゴリラのぬいぐるみを着た人が歩いているのが映し出されていました。映画が終わって、学生たちそれぞれに車の数を数えている間に何か変わったものを見たかどうか聞きました。そうしたら誰ひとりとしてゴリラを見たという者はいませんでした！『ゴリラを見ましたか？』と聞いても、みんな『いいえ、見ませんでした。』と答えました。その



学生たちに同じ映画をもう一度観せたところ、今度はみんなゴリラを見つけて、『これは最初の映画と違う！最初の映画にはゴリラは映っていないかった。』と言いました。」お母さんが少し間をおいて、

「みんなどうして誰も最初に上映したときゴリラが見えなかったか分かる？」と聞きました。

「学生たちは車の数を数えるのに気を取られすぎて、ゴリラには目が止まらなかったんだ！」とアスマが答えました。

リアズが跳び上がって言いました。

「おれゴリラのぬいぐるみを着てゴリラになってみたいな！」みんなどっと笑ってしまいました。お母さんが続けて、

「私たちは、よく自分がしたいことや楽しむことに夢中になって、自分のすぐ目の前にある神様の精神界を見ていません。そして、神様からどんどん遠ざかっています。だから私た

ちは日常生活をする中で、一つの目はいつも精神界を見るようにしなければいけません。」

「そうだよ！一つの目はゴリラを見ていなくちゃ！」とリアズが大声で言いました。みんな、また笑ってしまいました。お母さんが続けて、

「さて、それじゃ、バハオラ昇天 100年目の目を思い出す話に戻しましょう。外の美しい自然に囲まれて、みんな神様にととても近くなったところで、お祈りしましょう。お祈りの歌もいかもしれない。それから、お家に帰って、暖かい布団に入って寝ましょう！風邪を引かないようにね。」

子供たちは、それぞれお祈りをして、美しいお祈りの歌を歌いました。みんな神様をととても近くに感じました。そして、こんな暗い夜に、この丘の上に来て来たことをとても喜びました。みんな大人になって自分の子供を持つようになった今も、この特別な夜のことは決して忘れていません。





クイズ

- 1 5人の子供とお母さんはどこに集まっていたか？

- 2 その日は何の日でしたか？

- 3 バハオラが埋葬されているのはどこですか？

- 4 お母さんは外にいと、どうなると思ったのでしょうか？

- 5 バハオラの言葉にある、二つの目はそれぞれ何を見る目でしょうか？

- 6 その目はどうすれば良いのでしょうか？

- 7 そうすると何が分かるのでしょうか？

- 8 学生たちがゴリラが見えなかったのは何故でしょうか？

- 9 この世のものを二つ以上あげてみましょう。

- 10 精神界を見る目を見て、心に感じるものを二つ以上あげてみましょう。

どうですか？全部答えられましたか？

答えは保護者のページのお話の後にあります。

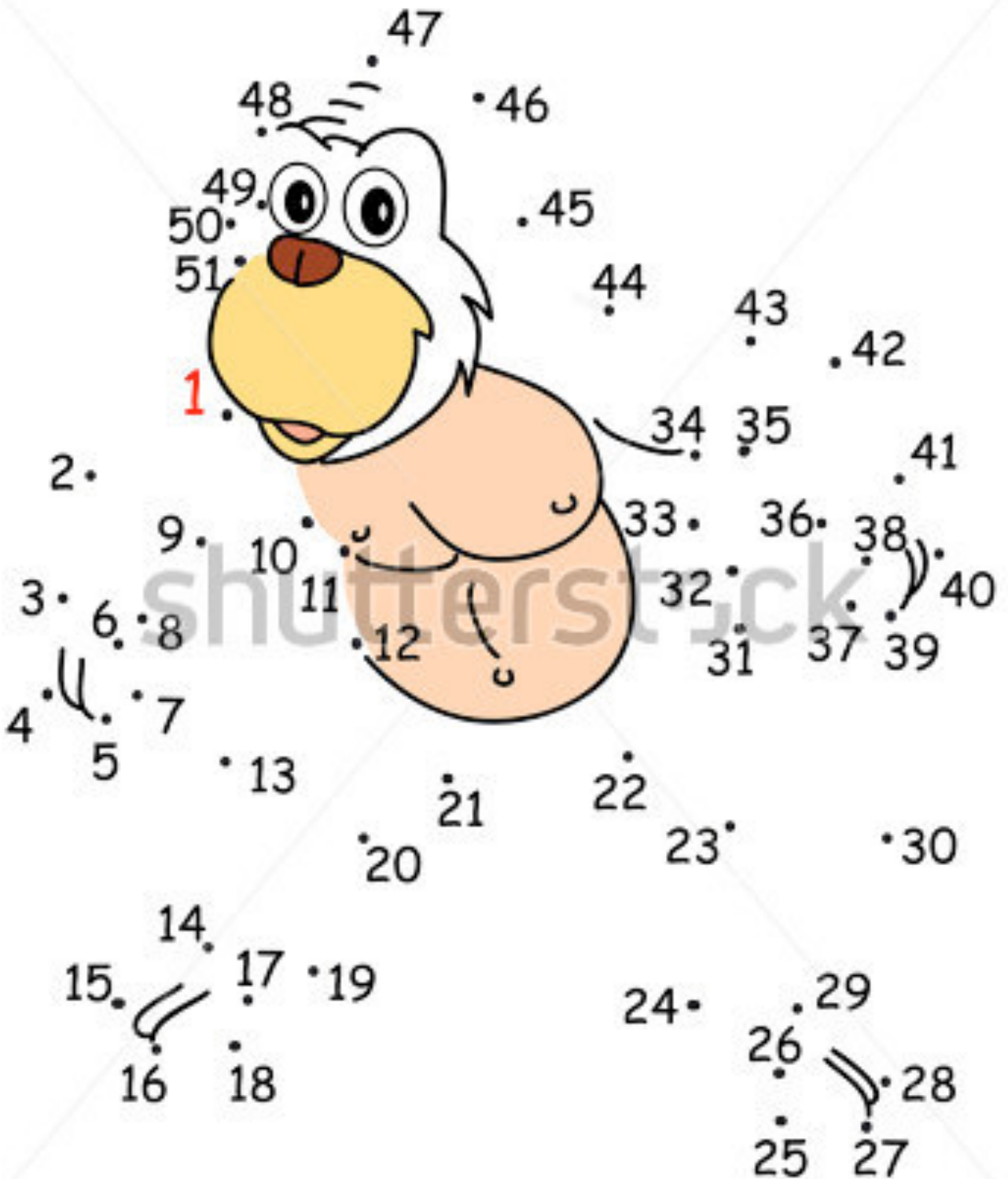


ぬり絵

1から2へ...

2から3へ...点を全部つないで絵を完成してみましょ

う。



ゴリラが^み見えますか？

---- No.25 ----
 椿
 Camellia
 4つ折り
 Double-folded square



61

つくりかた
作り方

ピンクの四角を折り曲げて下の四角の裏に重なるように、このページからはさみで切りとる。

重ねたまま、絵柄が一番上になるように① ②の順に折る。

重ねたまま、グレーの部分をはさみで切り離す。はさみが使えないところはカッターを使う。

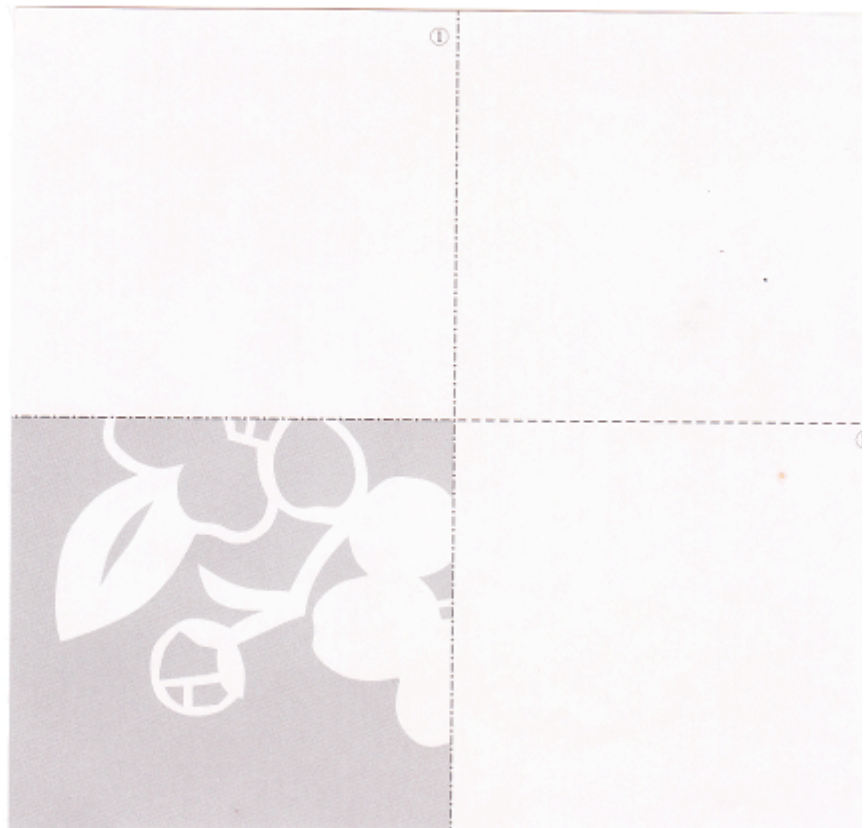
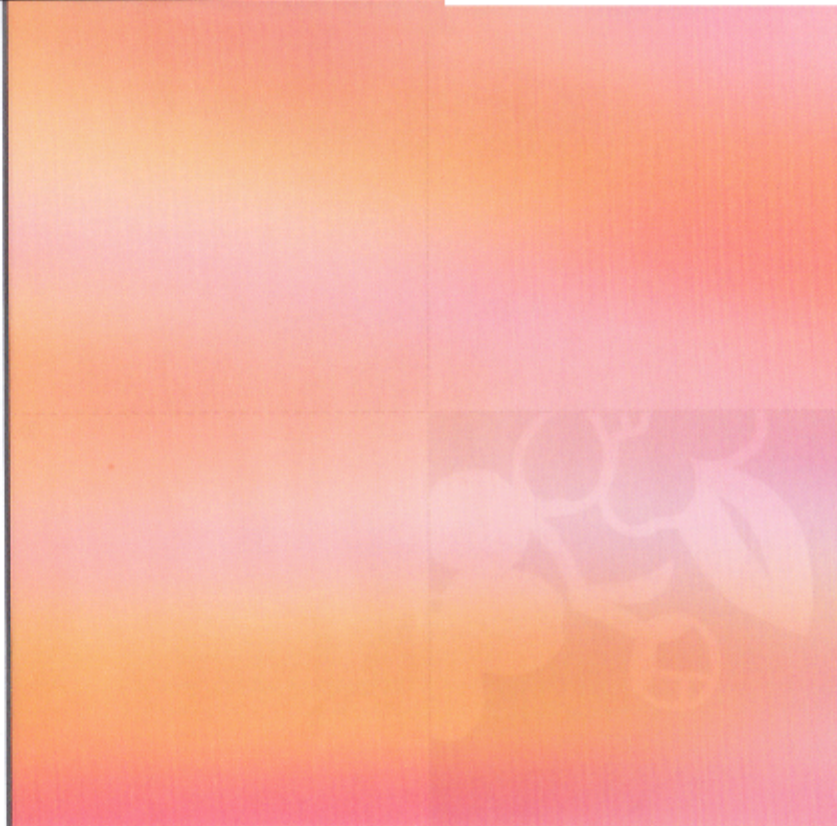
3紙を開いてできあがり。

紙を開いてできあがり。

How to
 1 Fold in the order of the numbers shown, with the cutting pattern side facing up.

できあがりをお色カードに貼って飾ったり、お祝いカードにしたりするとよいでしょう。

62





みんなの^{しゃしん}写真



保護者のページ

私たち人間は、肉体的に存在して精神的な体験をしているのではありません。精神的に存在して肉体的な体験をしているのです。それをアブドル・バハはさらに次のように説明されています。「人間の本质は精神的な存在であり、精神的に生きるときだけ真の幸福になることができる。」

さて、それでは精神的な世界とは何でしょうか？今回子供たちに説明しようとしているのは、精神界は私たちが亡くなってから行くところだけではないということです。精神界はこの世で、すぐ目の前にあります。ただほとんどそれに気付かないだけです。ちょうど子宮の中にいる赤ん坊と同じようなものです。私たちは赤ん坊の成長をととても注意深く検査ができて、生まれて来る準備をしています。しかし、赤ん坊はほとんどこの世界のことには気付いていません。それと同じように私たちは目の前にある精神界に気付いていません。神の属性に注意を払うことよってのみ精神界を垣間見ることができます。アブドル・バハは精神界が実在の世界であり、この世のものは実在の世界の精神界が反射して映し出された映像にすぎないと説明されています。空や木や山が映っている池を考えて見ましょう。きれいな水ほど、その周りをはっきりと映ります。でもその周りだけで全てが映ることはないでしょう。この世のものは、ちょうどこの池に周りだけ反射して映し出された映像です。バハオラが言われています。「おお愛の子よ！ 汝は天上の輝かしき丘よりまた天上の愛の木よりただ一步だけ遠のいている。一步踏み出せ。そして第二步で不滅の領土に進み、永遠の館に入れ。...」

誰も本当に精神界を理解できません。この世でもまだ理解していません。しかし、お祈りと瞑想して、つまり「一つの眼を閉じ、他の眼を開けて...」精神界を垣間見ることができます。子供と一緒にこの大切なことを話題にして話しましょう。



- 1) 沖縄の読谷村の城址
- 2) バハオラ昇天の日
- 3) ページの館
- 4) 神様を近くに感じる
- 5) この世のものを見る目と精神界を見る目
- 6) この世のものを見る目を閉じて、精神界を見る目を開ける
- 7) 精神界がもっと大切だと分かる
- 8) 車の数を数えるのに気を取られすぎている
- 9) おもちゃ、ゲーム、スポーツ、お金、服
- 10) 愛、親切、正義、いつくしみ、同情、許し



皆さんのお子様のバハイ活動でみんなに役に立つ
いいお話、又は写真などがあれば、送ってください。
luanahirahara@hotmail.com に送ってください。

ひるの星

№. 254

2013年6月発行

ひるの星をカラー印刷するには以下のリンクにアクセスしてください。

<http://hirunohoshi.weebly.com/>

日本バハイ全国精神行政会

〒160-0022 東京都新宿区新宿7丁目2番13号

電話：03-3209-7521 FAX：03-3204-0773

ひるの星委員会：平原静志、平原ルアナ、原奈緒、アルマンザ・エダナ

協力

物語：平原ルアナ、

和訳：平原静志、

写真：ウィキペディア、平原ルアナ、マクティア・ハナ、小島えり子

絵：ハンナ・メグ、平原ルアナ、ハンナ・ミシェル、平本かおり、カーティス・ラリー、

テクニカル・アドバイザー：グレン・ロウ

監修：平野祐一